

友の会第5回総会報告

活動報告の承認および24年度計画を決定 “楽しく活動を続けながら、新しい仲間を増やしていこう”

4月28日(土)、午後3時から葛飾図書館友の会の第5回総会が中央図書館で開催されました。役員を含め約40名の会員が出席しての総会です。朝野会長の挨拶の後、新しく着任された橋本中央図書館長から「今年度は図書館基本計画の見直しや新たな地区図書館を検討しており、本を仲立ちに区民の結びつきを友の会にも期待している」との挨拶を受けました。議長を選出し、議事に入り平成23年度の活動報告、会計及び監査報告が原案通り拍手で承認されました。昨年度は新たにCD・DVDコンサート委員会の発足や「葛飾情報ニュース」作成委員会の休止などがありましたが、友の会独自のホームページの新設や「かつしかコーナー」の特集展示などを含め、各委員会の継続的で活発な活動が報告されました。また役員改選があり、展示企画委員長と会計1名及び2名の会計監査の交代が提案されました。その他の役員はすべて留任(任期2年)することで平成24年度の役員体制を決定。そして11月初旬に“友の会ウィーク”を開催するなどの平成24年度の活動計画案と予算案も原案通り拍手で承認され、総会は無事終了しました。

役員体制

会 長	朝野 熙彦
副 会 長	鶴岡 幸子 高橋 久郎
会 計	林 ナオミ 芝 節子
会 計 監 査	飯泉 孝 田中 弘子
総務委員長	福部 國弘
広報委員長	中里 隆二
イベント委員長	川島 勉
ナイトシアター 委 員 長	加藤 和也
児童・YAサービ ス 援 委 員 長	斎藤 美代
16ミリフィルム映 画を楽しむ会委員長	赤川 芳晴
展示企画委員長	栗竹 敬子
CD・DVDコンサ ート 委 員 長	高橋 久郎

今年も5つの『ライブラリーカフェ』がオープン

休憩後、昨年に引き続き、『ライブラリーカフェ』が開店。以下は5店の簡単な店内の様子です。

- ①『電子書籍を試してみよう』実際にタブレット端末を使用しながらその“功罪”を熱く語り合いました。
- ②『葛飾の図書館クイズ』設問10の問題用紙で蔵書数、一日来館者、貸出一般書・DVDのベストワンや年末年始の中央図書館来館者数当てなど
- ③『映画を観てから原作派、原作を読んでから観る派』イベント委員会が「かつしかコーナー」で開催中のテーマに店内はいっぱい。いや、撮影現場まで旅立つという会員も出現。
- ④『かつしか郷土かるたを楽しもう』最近発売されたかつしか郷土かるたを使いながら区の歴史や郷土などを語りあう。
- ⑤『図書館でボランティア活動しよう』廃棄本のICタグを剥がし、リサイクル処理のシールを貼り、赤い廃棄印を押す作業(左写真)を体験。これらの店でストローで飲み物を吸いながら和やかに歓談・作業を行い、午後5時に閉店しました。そして新旧両館長や友の会担当の図書館職員も加わっていただいて、懇親会をもちました。



「誰もが快適に利用できる図書館に」と笑顔で抱負を語る



5月11日（金）午後、本年4月から葛飾区役所の人事課より新しく着任された橋本中央図書館長にお話を伺いました。

先日の第5回友の会総会で「小さいお子さんからご年配まですべての区民が快適に利用できる図書館を目指していきたい」と抱負を語られた館長は図書館関係の仕事は初めてとのこと。時々利用することはあったが、仕事として図書館の中に入るとは夢にも思わなかったと、少々苦笑気味？

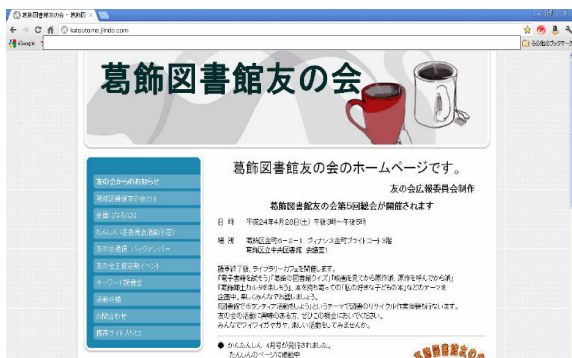
着任から1ヶ月あまり、まだまだ図書館業務の全貌は把握し切れていない状況だそうですが、仕事に携わる多くの職員が安心して働ける環境作りをまず目指すこと、そして家から自転車で来られる距離で前の職場より通勤は楽になったが、区内にある11の図書館を“統率”するという責任の重さも強調されました。

“厳しい”職場環境のなか、抱負実現へ熱意

また中央図書館は閉館時間も遅く、さらに年末年始も開館しているので、原則的に土・日が休みの区役所勤務と違い、毎月第4木曜日と特別整理期間以外に休館日がないというほぼ年中無休の“厳しさ”もある職場だか、抱負の実現に向け着実に仕事を進めていこうとの熱意は十分伝わってきました。逆に読書の時間も取れないのでは・・・と、こちらの方が心配してしまいます。

3人のお子さんがある橋本館長の趣味は長年やっているゴルフに釣り、そして今はスノーボーに魅せられているとのこと、特に釣りに話が及んだ時はカワハギを釣る難しさを楽しそうに話された笑顔にとっても親しみを感じました。最後はこの6月で4年目を迎える「友の会」として、自由な活動をさせていただいていることに対してのお礼の言葉でインタビューは終わりました。（取材 小林/中里）

友の会のホームページができました！



友の会からのお知らせ、年4回発行の『友の会通信』、毎月発行の『たんしん』がご自宅のパソコンからご覧になれます。

定期イベントであるナイトシアター、16ミリフィルム映画を楽しむ会、CD・DVDコンサート、キーワード読書会やおはなし会の予定も掲載しています。会員のみなさんにはもちろん、友の会に関心がある方々に、当会がどのような活動をしているかを紹介しています。



携帯用QRコードもありますので、外出先で当月の映画の情報や各委員会の予定を確認するのも便利です。ぜひ活用ください。

PC用URL:<http://katsutomo.jimdo.com/>

携帯用QRコード
読込んでください

原点は「利用者感覚」手づくりコーナーただいま展開中！



「日本映画」約 280 点、「外国映画」約 350 点、「児童向け映画・アニメ」約 220 点。区立図書館所蔵の劇映画(TVドラマ含む)系DVDのタイトル数を検索してみると、意外に数があるものだと感じる人が少なくないのではと思われます。

“意外に”というのは、実際にDVDコーナーを覗いても、現物を確認できるのは、たいてい検索上出てくる点数の 1 割もあるかないかだからです。つまり劇映画系のDVDはそれだけ人気があり、席ならぬ棚をあたためる暇もなく貸し出され、常に次の予約が入っているものが大半を占めているのです。

では、予約待ちの間どうするか？「原作本を読んでみる」は、その有力な選択肢の一つではないでしょうか？

原作を知ることが結果的にDVD鑑賞のたのしみのプラスになるか否かはケース・バイ・ケースでしょうが、少なくとも何らかの刺激や発見を得られることはまちがいありません。よほどガンコな「原作を読むのは観てから」派や「原作はぜったいに読まない」派でないかぎり、手を出してみても損のない話ではないかと思われます。

そんなこんなで映画原作本にスポットをあててみたのが、中央図書館かつしかコーナーの一角をお借りして5月25日まで開催した友の会企画特集展示第7回「原作本あつまれ！～図書館所蔵DVD日本映画(TVドラマ含む)」。外国映画編は今秋開催を予定しています。

これからも「利用者感覚を発想の原点」に企画展示に取り組んでいきたいと考えています。中央図書館来館の折には、かつしかコーナーにぜひお立ち寄りください。「こんなテーマはどうか？」などのご意見も大歓迎でお待ちしています。



今後の友の会〈企画特集展示〉予定

第8回「本で出会える かつしか美の巨匠たち」 5月26日(土)～ 7月中旬

第9回「あの名言・名文はこの本の中に！ VOL.2」 7月下旬 ～ 9月上旬

第10回「原作本あつまれ！～図書館所蔵DVD外国映画」 9月中旬～10月下旬

企画検討中「なんとって受賞作！～芥川賞・直木賞から各専門分野受賞図書まで(仮)」

※展示資料は通常手続きで貸出し可（「館内」ラベルが貼ってあるものは館内利用のみ）※ブックリスト無料配布

映画・TVドラマ原作・原案本クイズ(日本編)

左側の映画・TVドラマ名と右側の原作・原案本を結んでください

- | | |
|----------------------|---------------------|
| ・映画「おくりびと」(2008年) | ・山本周五郎著「日日平安」 |
| ・TVドラマ「ザ・商社」(1988年) | ・藤沢周平著「盲目剣拵返し」 |
| ・映画「椿三十郎」(1962年) | ・松本清張著「空の城」 |
| ・映画「どですかでん」(1970年) | ・椎名誠著「倉庫作業員」 |
| ・映画「武士の一分」(2006年) | ・津島祐子著「火の山-山猿記」 |
| ・映画「息子」(1991年) | ・エド・マクベイン著「キングの身代金」 |
| ・映画「天国と地獄」(1963年) | ・青木新門著「納棺夫日記」 |
| ・TVドラマ「純情きらり」(2006年) | ・山本周五郎著「季節のない街」 |

心にのこる私の一冊 ⑪『ピーター・パン』

絵 アーサー・ラッカム 文 立原えりか 原作 J. M. バリー (立風書房)

大人になりたくなかった私の一冊

栗竹敬子

幼い時にみたディズニーのカラーアニメ映画のなかにピーターパンがいた。

その頃“夢見る夢子さん”といわれていた私は、大人にならない子供が、寝巻き姿の子供たちをつれていろんな冒険をしていく話にびっくりし、大人になりたくなかった私は本当に羨ましく思っていたから、これは映画だけの話と当時の大人に聞いたときには、がっかりしたものである。

そしていやでも大人になってしまった私は想像力たくましく育ち、相変わらず“夢見る夢子さん”のまま歳だけとったある日、ケジントン公園を舞台にしたアーサー・ラッカム氏のポストカードを街なかで見つけ、同じ頃フック船長の冒険の映画を子供と一緒にみて、とつぜん思い出したピーターパンの話、この世に存在しないものに興味を持ったり、冒険をして少し変わった人生に泣いたり、考えていく内にこの本に出会い、文訳をしている立原えりかさんの言葉のなかに「夜空の星をただ見上げる人と、そのあいだピーターパンを探す人の生き方、物の見方が同じであるはずがない。」おもわず胸に抱いていました。原作の劇作家ジェームズ・バリー氏の生涯とアーサー氏の関係・ディズニー映画などの解説もあって読みやすく、私の大切な一冊である。



(あわたけ・けいこ 展示企画委員長)

「葛飾図書館友の会」で一緒に活動しませんか！

『友の会』は多くの会員によって活動しています。図書館を利用されている方、活動趣旨に賛同される方々、是非ご入会いただき、あなたの図書館に関わるいろいろなアイデアを少しずつ実現してみませんか？

毎月第3土曜日の午後1時から4時まで中央図書館内で、また従来通り友の会開催イベント時に直接の入会受付を行っていますので、是非ご利用ください。年会費は一般会員は1,000円、賛助会員は1口2,000円です。上記の方法が利用できない場合、入会希望者は中央図書館に入会届をご提出の上、年会費を下記の口座に納入してください。図書館での年会費の直接納入はできません。「通信欄」に一般あるいは賛助会員かを明記の上、24年度年会費とご記入下さい。また1口500円の寄付も大歓迎です。振替手数料は銀行窓口では120円、ATMからでは80円です。恐れ入りますが、ご負担をお願いいたします。

ゆうちょ銀行	口座番号	00100-7-392065
	口座名称	葛飾図書館友の会

●問い合わせ先 中央図書館友の会担当者(打越さん、吉村さん、清水さん、白井さん) Tel 03-3607-9201

五月にはいつてゆつたりと咲いていた八重桜も終わり米国から贈られた白・赤・グリーンの花水木も咲き終わろうとしており紫色のテッセンも見事でしたがおおきめの白いテッセンが残っている位です▼今垣根のジャズミンが香りがあつて、そちこちでみられます。わたしは鉢で購入して来ても世話をするのが苦手で次の年に再び咲かせる等とでもできません▼母方の祖母がそれはきれいに大きなバラを毎年だんだん小さくなったお庭に垣根も含めてきれいに咲いていました。私たちには大きな朝顔を押し花にしておいてくれ画用紙に貼つて夏休みの宿題にしました▼今年の自然も今までにないような寒かったり暑かったり、一日の内でも気温の差が大き過ぎて、千葉ではあんなに大きな竜巻の被害が起きたり、夕方の雷と雨に電車が停まる程であつたりと、東京でも新緑と風薫る良い季節なのに「喜・憂の日々です▼中央図書館の入り口に持ち帰りの本のコーナーがありますが先日題名にひかれて自転車の荷台に入れて、家で楽しみに開いてみたら、「サヨナラ、サイレント・ネイビー」友よ、黙つて行かないで……とあり、開高健ノンフィクションの受賞作ですがサリン実行犯と東大助教授の運命を分けたものは……という内容で、私の母方の祖父は海軍に席があつたので終戦の年にはその二三年前に体調を悪くして私の誕生の頃はもう家に居りましたので、思いとは異なる本を貰つて来てしまいました▼ノンフィクションを読むのが好きですので、城山三郎を全部読んでみようかと思う昨今です。

(横嶋広報委員)

色せんびつ